

「(仮称)道の駅姫路」基本計画策定の背景と目的について

姫路市では、休憩機能や地元産品の買い物や飲食、利便性・魅力向上機能、交流機能を併せ持った道の駅の整備を目指し、令和3年3月に「(仮称)道の駅姫路」整備基本構想を策定しました。基本計画では、想定される多様な利用者の目線や事業者の目線を統合し、ターゲット設定や導入機能などの整備方針を示すとともに、事業手法の検討を加え、今後の事業の進め方を整理することを目的とします。

【事業対象地】

国道372号沿線(播但連絡道路東側)の花田IC北東の民有地



北東からの事業対象地



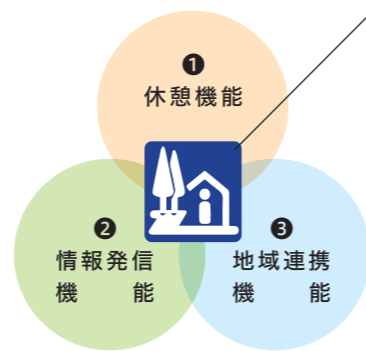
南東からの事業対象地

【施設配置イメージ図】

ゾーニングや施設配置の考え方を踏まえた現時点におけるイメージです。今後の検討によって変わることがあります。



●「道の駅」の3つの基本的な役割●



地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場

- ・「道の駅」の制度は、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供、地域の振興や安全の確保に寄与することなどを目的に平成5年に創設されました。
- ・「道の駅」の新しい取り組みとして
 - ①「道の駅」を世界ブランドへ
 - ②新「防災道の駅」が全国の安心拠点に
 - ③「あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに」
 があげられています。

【施設規模について】

約30,000m² 屋外面積:26,000m²程度/建物面積:3,600m²程度

【事業費について】

約31.8億円 土木工事:約6億円/建築工事:約22.9億円/調査設計:約2.9億円

【整備・管理運営手法】

DBO方式

- ・DBO方式とは、民間活力を導入し、設計(D)・施工(B)・運営(O)を一括で性能発注する方式です。
- ・持続可能な運営のため、収益性を重視し、民間事業者の意向の反映のしやすさや工期短縮効果、他都市事例等を考慮して複数の手法を検討した結果、DBO方式が最有力候補となりました。

【整備スケジュール】

	事業年度					説明
	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	
事業手法の検討	●					どのように発注や運営を行って事業を進めたら良いか、民間事業者の意見も聞きながら検討を行います。
整備・管理運営 事業者選定		●	●			道の駅の整備・管理運営に、市と一緒に取り組んでもらう民間事業者を公募して選定します。
用地	確定測量	●				事業対象地を測量し、境界を確定してから用地買収(取得)します。
	用地買収			●		
造成	設計	●	●			取得した用地を造成し、安全で使いやすい道の駅の基盤を作ります。
	工事			●		
建築	設計			●	●	民間事業者のノウハウを活かして具体的な施設を描き、建物を作ります。
	工事				●	
供用開始					★	いよいよ、R8(2026)年度に開駅します!

※DBO方式を採用した場合のスケジュールです。今後の検討によって変わることがあります。

「姫路」に
道の駅が
できる!

2026年度

みんなで
もりあげて
いこう!

播磨の実力にあふれ、
みりよく
世代・地域を越えた
交流を生み出す
道の駅を創る。



姫路市



【姫路の道の駅】づくりのために

特長ある機能導入のため、主な3つの利用者像をヒアリング調査により設定しました。

【導入機能と整備のポイント】



1 こどもの遊び・体験



主な行動イメージ

- ・こどもが「道の駅に遊びに行きたい」とせがみ、親も安心して連れていける公園的な場所として日常利用する
- ・季節のイベントに親子で参加する(夏休みの工作等)
- ・こどもが遊んでいる間に直売所で買物できる
- ・毎週末何かイベントをしているので、週末の午後からでもちょっと出かけられる
- ・ショッピングモールと同じように道の駅を利用する
- ・きれいなトイレ、授乳室があるから安心して子連れで出かけられる

2 旅行者へのおもてなし



主な行動イメージ

- ・名物のある道の駅として、目的地にする(限定スイーツ、限定ランチ、ゲートウェイとしてのシンボル等)
- ・地元播磨の新鮮な農産物・海産物を買求める
- ・サイクリング・ツーリングの集合場所や立ち寄り場所として利用する
- ・姫路に来た方が姫路域以外にいくところがないか情報収集する
- ・高速道路に乗る前、下りた後の休憩目的で立ち寄る
- ・帰り道で最後にお土産をまとめて買う

3 地元・周辺住民の日常利用



主な行動イメージ

- ・日常的な買物として直売所を利用する(野菜等)
- ・贈答品を買うために直売所を利用する(フルーツ等)
- ・友人が姫路に遊びに来た際にランチに連れてくる
- ・自家栽培の農産物を出荷する
- ・ものづくりや料理などに関するおじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋を披露し、多世代交流イベントの担い手になる
- ・地元の地域活動や学校の発表会をする

休憩機能

道の駅基本3機能

◆誰でも安心して使える休憩拠点



緑の多い駐車場(道の駅ましこ)

- ・駐車場
- ・トイレ
- ・その他(調乳、授乳室等)

情報発信機能

道の駅基本3機能

◆来訪者へのあたたかいおもてなし



姫路市観光案内所(姫路観光ナビポート)

- ・情報提供コーナー
- ・姫路市内及び播磨地域の観光情報発信

地域連携機能

道の駅基本3機能

◆播磨の実力で全力おもてなし



地元特産品販売所(道の駅神戸フルーツフラワーパーク大沢)

- ・物販(農畜水産物直売所、地元特産品販売所)
- ・飲食(レストラン、フードコート、BBQスペース、テイクアウト専門店、ドライブスルーカフェ)
- ・その他(行政窓口出張所、地域包括支援センター等)

広域防災拠点機能

利便性・魅力向上機能

◆もしものときには防災拠点に早変わり



駐車場を活用した非常時の応急活動(進出拠点)

- ・防災倉庫
- ・ZEB(自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、燃料電池、V2H)
- ・会議室

交通結節機能

利便性・魅力向上機能

◆広い駐車場を活かした「まち・そと」への結節点



バス停(道の駅むなかた)

- ・バス停留所
- ・電気自動車充電スタンド
- ・サイクリング、ツーリング拠点

体験機能

利便性・魅力向上機能

◆姫路の手仕事・農仕事・海仕事を学ぶ



体験農園(いもほり)

- ・体験スペース(農業、食文化、皮革製作など)

観光ゲートウェイ機能

交流機能

◆姫路観光の新たな魅力を開くゲート



コンシェルジュ(道の駅飛鳥)

- ・コンシェルジュコーナー

こどもの遊び場

交流機能

◆想像力のあるこどもに育つ遊び場



ボ-ネルド-プレイヴィル(安満遺跡公園)

- ・芝生広場
- ・遊具のある遊び場
- ・水あそび場
- ・屋内こども遊び場

イベントスペース

交流機能

◆いつでもにぎやかなイベントスペース



大屋根広場(安満遺跡公園)

- ・屋根付きフリースペース

その他



水素ステーション(姫路市)

- ・調整池、飲料水兼用耐震性貯水槽、水素ステーション(燃料電池自動車対応)等

【姫路の道の駅】

姫路市では、国道372号沿線の播但連絡道路東側に令和8年度の開駅を目指し、道の駅の整備を計画しています。一人でも多くの方々に応援していただきたいです。

【コンセプト】

みりよく
播磨の実力にあふれ、世代・地域を越えた交流を生み出す道の駅

【基本方針】

播磨の実力(みりよく)ある産品があふれ 触れることのできる 魅力的な場

・多種多様な地場産品の紹介・販売を通して、地域経済拠点の形成につなげます。



こどもが楽しみ 三世代が楽しめる世代を越えた 交流の場

・市内こども関係施設との連携等により、子育て世代~三世代に新たな魅力をPRします。



観光客や市民が集う 地域を越えた 交流の場

・観光客と市民の交流を通じ、本市の魅力向上・PR、さらには定住・移住促進を図ります。



姫路市産業局商工労働部道の駅推進室

〒670-8501 姫路市安田4-1

TEL:079-221-1549 FAX:079-221-2508 E-mail:michinoeki@city.himeji.lg.jp